

つながる すみだ人

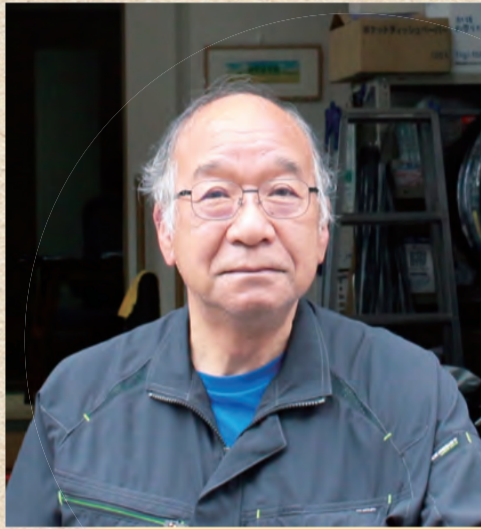
私の好きな すみだ
今月の1枚
「墨田の秋」

【撮影】小川洋一さん

本コーナーへの写真を随時募集しています。詳細は区ホームページをご覧ください。



【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



若林太市さん(東向島在住)

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながる すみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人をつないでいきます。第47回は、創業約90年続く「若林自転車店」を営み、自転車に乗る人の安全を第一に修理などを手掛ける若林太市さんです。

Q. すみだでどのような活動をしていますか？

自転車の修理やメンテナンスを主に行う自転車店を営んでいます。また、区の「リサイクル自転車」の事業にも携わっています。これは、区が撤去した放置自転車で引取りがなかったものを譲り受け、整備や点検をしたうえで販売する自転車のことで、お店に入荷してもすぐに売れてしまうほど人気なんです。修理やメンテナンスの際は、乗る人の安全を第一に、乗り心地も良くなるように細かくチェック

しています。正しく整備されている自転車は静かに走るの、走行中に何か音がするのはどこかに異常があるサインなんです。その時はすぐに点検するようにしてください。また、サドルやハンドルを体形に合わせて少し調整するだけでも快適に乗ることができるので、何か自転車で気になる部分があったら、かかりつけ医に診てもらった感覚で、気軽にお店に持って来てくださいね。

Q. 現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

この店は昭和10年に父が始めました。私は、高校卒業後に2年間ほどバイクの販売会社に勤め、そこで修理の基本的な技術を身に付けてから店に就職し、その後は父の技術を目で盗み、腕を磨きました。修理を手掛けて今年で53年になります。昔は、自転車は全ての部品がバラバラの状態での納品されていたので、車輪の組立てから全部自分で行ってました。多い時には、1日に5台も組み立てることもあったんですよ。そのおかげで、自転車の構造は細部まで覚えています。今ではほとんど組み立てられた状態で納品されますが、その影響か、最近の自転車店では細かく修

理できる人が少なくなっているようなんです。だから、細部まで行き届いた修理ができるのは自分の強みだと思っています。量販店などではパーツを丸ごと交換してしまうような故障でも、細かい部品単位で修理することができますよ。私は修理することが好きなので、故障で持ってきたお客さんには安易に新車の購入を勧めず、できるだけ修理してお返すようにしています。「もったいない」という気持ちもありますからね。そうやって修理を重ねて長く乗り続け、お客さんがその自転車に愛着を持ってもらえれば、私としても嬉しいです。



◀専用の器具を使って自転車を持ち上げます。細部まで確認するには欠かせない作業です。



▲多くの修理道具を揃え、お客さんの様々な困り事に対応します。

Q. 若林さんは、すみだのどんなところが好きですか？

やはり、東京スカイツリー®という名所ができたのは嬉しいですね。自分の住んでいる所を人に説明するとき、「スカイツリーのある所」と言えば、すぐに分かってもらえるほど知名度があります。

そのほかにも新しい名所ができるなど、いろいろと変わり続けるすみだですが、私はこれからも変わらずに、お客さんに寄り添った修理ができる自転車店を続けていければと思っています。

次回登場してくださるのは・・・

アルゼンチン タンゴ
「Argentine Tango studio 和」でタンゴダンスを教え、本場のタンゴの魅力を広める桑原和美さんです。
【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



夢

大相撲の街「すみだ」の魅力を発信

墨田区長

山本亨

去る8月23日、国技館において、本区と公益財団法人日本相撲協会による包括連携協定の締結式を行いました。

この協定は、大相撲による地域振興を通じて、本区の一層の活性化および相互の発展に資することを目的としており、「子どもの健全育成」や「学校との連携」、「文化および観光振興」など、様々な分野での連携を進めていきます。

これまで、日本相撲協会からは、新1年生向けのランドセルカバーの寄贈や、新型コロナワクチン接種会場の提供等で、ご協力いただきましたが、この協定をきっかけに、今年度の「すみだまつり・こどもまつり」では、清見瀧親方(元栃煌山)と楯山親方(元誉富士)の

トークショー(10月2日開催)が実現します。

また、先月開催された大相撲9月場所では、連携事業の一環として、日本相撲協会の公式YouTubeチャンネル「親方ちゃんねる」に、すみだ子どもPR大使が出演し、親方の皆さんとともに、本区や大相撲の魅力を発信しました。今後は、力士の皆さんによる学校への出前授業等を通じて、子どもたちが多くの力士と触れ合い、相撲を身近に感じ、体力向上にもつながることを期待しています。

墨田区は、日本で最も相撲と関係の深い街です。これからも、本区の伝統文化を継承し地域の発展をめざすため、日本相撲協会との連携を一層強化し、双方の特性および資源等

を有効に活用した協働による活動を積極的に推進していきます。



協定の締結式にて日本相撲協会の八角理事長と